



## 今月のトピック

## This month's main topics

# 「わたしたちがつくりたいまちの景色」と 「まちの採用担当」としての大家の役割

4月3日に「まちのクリエイティブポケット totsukuru」で行われた「まちのBAR」に登壇しました。市議がマスターになって、みんなでまちのことを考えるイベントで、今回は「わたしたちがつくりたいまちの景色」がテーマです。最初に「ちっちゃい辻堂」の石井光さんの発表があり、その後、進行中の事例として〈本好き、猫好きがゆるやかにつながる「ホンとネコの居場所」でつくりたい景色は、人や資源や楽しさがつながり、循環するまち〉といった内容の話をしました。

発表の中で、設計を担当してもらっている早川慶太さんが描いてくれたイラストパースを紹介しました。ホームページの冒頭にも使用しているととても素敵なイラストですが、下書きから二カ所だけ直してもらった箇所があります。一つはスパイラル・ハーブガーデンで作業している人を一人から二人に増やしてもらったこと。もう一つは、廊下を歩いて出かける人と帰ってきた人が当初は離れて向き合っていたのですが、挨拶しながらすれ違っているようにしてもらったことです。同じアパートに住んでいる人同士が、ちょっとした挨拶を交わすような、ゆるやかにつながる関係が生まれてほしいと思っているからです。

この日の様子を、「まちのBAR」の“ママ”藤池香澄さんが「つながり」というテーマでレポートにまとめてくれて、「女性がふたり、手をふってるシーンが描かれています。こんな光景があちこちで見られるといいですね」と書いてくれました。

参加者が書いてくれた感想カードには、「笑顔で自然に挨拶がある。挨拶って大切だね」「自分の家を出た時、街にちょっとした声かけできる人がいる景色」「まち全体に一人ひとりの個性がにじみ出ている、総和になっているまちの景色」といった声がありました。「ホンとネコの居場所」が、こんなまちの風景が生まれる一助になればうれしいです。

一昨年から受講している「大家の学校」では、「大家はまちの採用担当」という言い方がよくされます。大家というのは、自分が所有する物件に住む人を選ぶ権利(=権力)を持っています。それだけに謙虚でなければいけないし、このまちがどうなってほしいかということも、「大家の学校」に通うようになってからよく考えるようになりました。

「大家はまちの採用担当」という言葉にも通じることですが、3月から毎月、内覧会を開催して、入居希望の方と直接、顔を合わせるようにしています。入居希望者からすると、気になる部屋を見に行ったら、突然、大家が現れて、あれこれコンセプトを語られて、ちょっと面食らうかもしれません。

それでも、「何平米、駅から何分、ペット可」といった条件だけで選ぶのではなく、「コミュニティ賃貸アパート」にともに暮らす住人として、ゆるやかなつながりのある暮らしを前向きに受け入れたいと考える人に入居してほしいという希望から、内覧会での顔合わせを行っています。入居前にじっくりとお話することで、お互いにここでの暮らし向きを了解したうえで、入居を決めてもらえたらうれしいです。

## 今月のお知らせ

This month's news



## 内覧会のご案内

次回以降の内覧会は、6月21日(日)、7月12日(日)の、それぞれ午前10時からを予定しています。部屋の壁もできてきて、徐々に住まいのイメージがしやすくなると思います。写真は一棚図書館から見た奥の2階「猫の間(仮)」。窓際に猫がいれば見えるかも。

# 「ホンとネコの居場所」 オーナーが語る 本や猫や映画やあれこれ

Owner's voice

Books

no.08

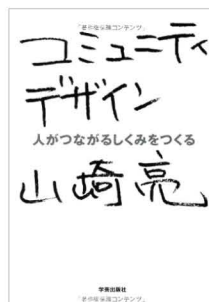
## 「場づくり」「まちづくり」の 実践者が綴った2つの入門書

猫好き、本好きの人がゆるくつながるコミュニティづくりを目指しているなかで、長年「場づくり」に携わってきた長田英史さんの『場づくりの教科書』は理論と実践を兼ね備えた入門書としてとても参考になる1冊です。「場はたった一人の思いから生まれる」という第1章から始まり、「ゼロから新しい場をつくるには」「組織を立ち上げるには」など、哲学を技術に落とし込んだアドバイスにあふれています。最後は「ありのままの自分で世界とつながろう」というメッセージで締めくくられていて、勇気をもらえます。長田さんはメルマガ「場づくりのチカラ」も発行していて、こちらも読み応えがあります。ちなみに、1972年茅ヶ崎生まれのようで、僕と3歳違いなので、これまでどこかですれ違っていたかもしれません。

1973年生まれで、長田さんの1歳下になる山崎亮さんは、「場づくり」というより「まちづくり」のワークショップや住民参加型の総合計画づくりなどに携わるコミュニティデザイナーです。デザインの力を使って、コミュニティが持つ課題解決力を高めるよう支援するのがコミュニティデザインで、2011年に発売された『コミュニティデザインー人がつながるしくみをつくる』は、山崎さんのデビュー作にしてこの分野の必読書となっています。



長田英史  
『場づくりの教科書』



山崎亮  
『コミュニティデザインー人がつながるしくみをつくる』

Movies

no.04

## 今月の映画原作本 『君のクイズ』

『ゲームの王国』『嘘と正典』『地図と拳』など、SFと歴史小説を縦横無尽に行き来する小川哲ですが、実はSFと歴史小説はとても似ていて、「未来を舞台にした歴史小説がSFである（架空世界であればファンタジー）」ともいえると思います。

スケールが大きすぎて、今まで映像化されなかった小川作品ですが、初めて映像化されたのが『君のクイズ』です。これまでとは趣向を変えて、舞台はクイズ番組。主人公の対戦相手は1文字も問題が読まれぬうちに回答し、優勝を果たします。彼はなぜ正答できたのか？読むと、クイズプレイヤーの思考と世界がまるごと体験できる小説です。

## Official WebSite & SNS

### ウェブ情報のご案内

WebSite Information



#### 公式サイト

『ホンとネコの居場所』の公式サイトです。



#### Instagram

イベントの開催、本の紹介、現場の様子などを発信中。



#### note（オーナー）

オーナーのnoteです。本や猫などについて書いております。